

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902595		
法人名	株式会社 緑ケアライフサービス		
事業所名	グループホーム 『殿』 ユニット2		
所在地	旭川市東6条10丁目1番22号		
自己評価作成日	令和3年11月13日	評価結果市町村受理日	令和4年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyvoyoCd=0172902595-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・経営理念「‘その人らしさ’を尊重し、生きる喜びに共感する」を念頭に当事業所で従事するスタッフが全力で入居者さまと関わらせていただいております。利用者主体に家庭的で穏やかな雰囲気によって、安心した生活が送れるよう心掛けています

・より楽しく、おいしい食事をしてもらうための献立を計画的にたてています。栄養士を配置し、一日の栄養管理にも配慮しています。

・入居者さまの生活リズムを考え、ご本人のペースに沿った柔軟な支援をしています。小さな変化にも敏感に対応し、迅速な行動をとるよう努めています。各スタッフ同士も綿密なコミュニケーションにより、チームワーク良く対応させていただいています

・各スタッフの資格取得や研修参加を積極的に呼び掛けており、実際、事業所内での質の向上を目的とした取り組みのほか、外部研修にも参加している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和3年11月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り時に出勤しているスタッフ全員で理念を唱和(木曜日)し、ほぼ皆、暗記しています。理念通り否定することなく実践し、理念は社内外に向けて、目につく玄関入口やリビングに掲示しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近隣のふじスーパーやツルハ・セブンイレブンを頻りに利用させて頂いています。散髪で近くの理容室を利用している方もいます		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	経営者が町内会の総会に参加し、必要に応じて、認知症の方の理解やご支援方法について、説明させて頂いている。また、認知症カフェ「ぶらっとカフェ」の実行委員となり、尽力している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防の為、書面開催が続いておりますが、返信していただいた意見をサービスの向上に繋げています		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市の担当者を招致したり、必要に応じて市の担当者との連絡を取り、アドバイスをいただく等、良好な関係を築いていけるよう努めています。また地域包括支援センターが主催するグループホーム交流会の企画委員として、毎回、参加しています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的を実施しています。どんなことが身体拘束となるかをいつも、業務を振り返り、不適切ケアを抽出し、より良いサービスに繋げている。外部研修にも参加し、その学びを共有しあっている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は介護員のストレス等も常に観察しながら勤務内外で意見等聴き、スタッフが常に健全な心でケアできるよう心がけています。スタッフ同士も気遣いながら未然に防ぎつつ社内外の研修や勉強会を通して、虐待防止に努めている。		

グループホーム『殿』ユニット2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度の勉強会や研修に参加し、知識の向上に努めています。該当の入居者さんがいる場合は行政担当者に指示を仰いでいます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約内容・契約書の説明については、特に時間をかけて行い、ご本人およびご家族様に納得していただけるようにしています。重篤化した場合や金銭に係わることは理解・納得していただける説明を心がけています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置、確認を行っています。苦情があった場合は、隠すことなく全スタッフミーティング等で職員全員が共有できるようにしています		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の全スタッフミーティングや都度、職員が自由に意見や提案を表せる機会を設け反映させている。その他、個別に面談も行い、話し合いの機会をつくることに留意している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者とスタッフ、管理者と代表者というように管理者が両者の意見を反映させられる橋渡し役になりながら、組織として、ボトムアップ出来る報・連・相を重視した意識をもっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者・管理者・現場職員お互いが、まずは素直に聞き入れる姿勢でいます。個々の長所を見つけ、言葉にして認める努力をしています。外部研修については、コロナウィルス感染予防にて、オンライン研修で参加しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日本認知症GH協会(理事)、4圏域GH交流会(企画委員)、ぷらっとカフェ(実行委員)、まちづくり推進協議会等 様々な団体に属し、迅速な情報収集に努め、業界全体の底上げに注力しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の今日までの生活暦や趣味・願い・要望等を入所前に代表者および管理者が、ご本人・ご家族様から、じっくり時間を掛けて、面談により聞きだし、傾聴しています。入居間もない期間は、ご本人と向き合う時間を増やし、観察力を高め、綿密な職員同志の情報の共有に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	現段階でご家族様が困っている事、不安な事を入居前、サービス開始前に面談し、じっくり時間を掛けて、傾聴しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族と情報の共有を密に図り、アセスメント等で把握し、それに基づき実践しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者さんが主体となれるよう家事のお手伝いの場を増やし一緒にしています。本人がしたいこと・出来ることを見極めながら、決して無理強いしないよう留意しています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、本人と一緒に支える為に家族との話し合いの場を多く持つようしています。ご家族への連絡を週1ペースでしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍にて、現在、思うように出来ませんが、昔からの友達等気軽に遊びに来てもらい継続的な交流ができるよう働きかけています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士のコミュニケーションや行動を観察、把握し、一人一人が孤立しないよう職員が個々に声かけし、場面場面で関わるようにしています。特に耳が不自由な方に対する配慮を怠らざりに行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も関係性を大切にし、相談を受けたり、本人・家族様のフォローをさせていただいております。葬儀に参列、納骨まで支援させていただいた方もいました		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや要望等日常会話、日々の行動や表情等のサインを敏感に察知するよう努めています。本人の意向を重視し、実現させる手段を常に模索している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントでセンター方式により、本人及びご家族から情報収集し、入居後も職員が会話の中で生活歴を聴取しながら、その都度、記録している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの際、数日前から気になる様子なども伝えていくことで日々の注意点や現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時や電話にて随時、ご家族へ本人の様子をお知らせし意見や思いを引き出せるようにしています。サービス担当者会議等で今後の課題やケアのあり方について話し合いをしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意し、食事・水分・排泄等の身体的状況及び日々の暮らしの様子、本人からの話、状態変化等記入して、いつでも職員間の情報共有をしています。勤務開始前の記録確認・申し送りを義務付けしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族との話を大事にし、本人・家族が安心して暮らせるよう、またニーズに応えられるよう配慮し支援しています。経済的なことで保護申請の支援をしたこともありました		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染予防のため、地域資源の協働が図れていません		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族様が希望する医療機関へ受診しています。毎月、定期的に訪問診療で指導・助言をいただいております。対応に苦慮する場合は都度、相談し、対応していただいております		

グループホーム『殿』ユニット2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療していただいている医療機関と密に連絡をとり、相談したり助言ももらったりしています。訪問診療前には、毎回、その時の状況をFAXにて報告しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人が安心して入院できるようアセスメントを提供し、退院時はソーシャルワーカーや病棟看護師から治療経過を聞き、サマリーの文書を頂くとともに本人と面談した上で退院直前の排泄・食事状況を必ず確認し、医療機関との連携に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期の対応指針を説明しています。終末期のあり方は、事前にご家族の意向を聞き、対応しています。医療機関・主治医・看護師と情報共有を密にし、看取りについても取り組むことが出来ています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、救急救命の訓練やAEDの使用方を訓練したこともあります。圏域合同の行方不明者発生時の訓練として定期連絡をしています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方にも協力を得ながら、利用者と共に消防署の方にも協力していただき、年2回の避難訓練を実施しています。避難経路の確認、消火器の使用方もスタッフ全員が対処できるよう訓練しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報管理徹底。一人ひとりの生活歴を大切に、個々に応じた言葉かけ(馴染みある呼称で)や対応を心がけています。個々人のプライドを把握するよう努め、配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせた声かけ(1つ1つの動作を終えた後に声かけ)や介助、意思表示が困難な方には表情を読み取ったり些細なことでも本人が決める場面作りをしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人一人の体調に合わせて、その日その時の本人の気持ちを尊重した個別性のある支援をしています。朝は無理に起こさず、食事も本人のペースで食べてもらっている		

グループホーム『殿』ユニット2

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝や入浴時の着替えは本人の意思で衣類を決めてもらうよう配慮し、爪切りも定期的に行っています。訪問利用はコロナウィルス感染予防しつつ継続して来てもらっていました		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ケーキ作りや芋の皮むき、お茶の葉づくり、調理時の味見、食器拭き等お手伝いしていただいています。その時点の個人ごとの嗜好・食べたい物を聴取し、それに基づいて一緒に献立を立てています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は個々の一日の摂取目標値を掲げ、摂取量を時間単位でチェックしています。また献立は、栄養士資格をもった職員と相談し、個々人の分量を工夫したり盛り付けを工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の洗浄は基本1日3回(朝・昼・夕)しています。義歯をつけない方は無理強いしないようにしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時的に声かけしますが、基本的には本人が「行きたい」ということを待っています。失敗した際は自尊心を傷つけないよう声かけしています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者ひとりひとりの排泄パターンを職員が把握(量・色・硬さ等)し、都度、記録しています。処方薬に頼らない排便サイクルを図り、便秘が続く時はチェック表を見て下剤を使用しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	概ね週2回で入浴の曜日は決めているが、要望があれば随時入浴可能な体制です。入浴好きな方は入浴時間を限定せず支援しています。入浴拒否する場合も都度、調整対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の眠気に応じて、就寝介助をしています。消灯する方、豆電球の方、個々の要望に合わせて、枕の高さを調整したりして、気持ちよく眠れるよう工夫しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来るだけ薬に頼らないケアに努めています。薬の内容や目的、副作用等把握するよう努め、通常、提携している薬局に管理してもらい随時、処方薬の相談もしています		

グループホーム『殿』ユニット2

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意な事を役割として分担しています(おしぼり、編み物、雑巾縫い、新聞・広告チラシたたみ、茶碗拭き等)。楽しく張り合いのある日々を送れるよう支援しています			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防のため、外出支援は出来ていません			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、預り金にて管理している。買物等出かけられた際は、自らお金を支払える場面を作り、金銭に対する関心をもってもらっています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、電話をかけたり、かかってきた際には伝えて、付き添いながら電話口で話してもらっている			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングから大雪山連峰を眺めることができ、四季の移り変わりが感じとれます。季節毎の飾りつけ(雛人形、七夕、クリスマスツリー、しめ縄等)、観葉植物の配置、鉢植えなど配置し四季の移り変わりを感じとってもらっています。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者さんが同士が自由に過ごせる環境づくりに努め、思い思いの時間を過ごせれるよう努めています			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等を持参して頂くよう本人やご家族に説明し、入居後、違和感なく安全性を重視し日常生活を過ごせるよう配慮しています(仏壇、タンス等)			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に表札とドアホン(扉の開閉で音が鳴る・各人違う絵柄の物)を取り付けています。所内がバリアフリーとなって、朝はリハビリ体操や嚙下体操等行っています			